

水稻除草剤

アップル[®] Z1キロ粒剤

ピラクロニル	2.0%
プロピリスルフロン	0.9%
プロモプチド	9.0%

種類名/ピラクロニル・プロピリスルフロン・
プロモプチド粒剤
農林水産省登録/第23719号
毒性/普通物*
有効年限/5年
包装/1kg×12、4kg×4、10kg、
40kg(受注生産の担い手直送規格)

特 長

- ノビエ(3葉期)をはじめ、様々な雑草に素早く効果を発揮します。
- SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカ等)に優れた効果を示します。
- 多年生難防除雑草(クログワイ、コウキヤガラ等)に高い効果を示します。
- 田植同時処理も可能です。

適用雑草と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ クログワイ ヒルムシロ セリ	移植時	1kg	本剤 ピラクロニル剤 1回 プロピリスルフロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	田植同時 散布機で 施用
	エゾノサヤヌカグサ オモダカ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日 まで			温水散布 又は 無人ヘリ散布
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前 まで			

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
ミズアオイは1葉期まで、ホタルイは4葉期まで(ただし、直播水稲は2葉期まで)、ウリカワは3葉期まで(ただし、直播水稲は2葉期まで)、ヘラオモダカは3葉期まで、ミズガヤツリは4葉期まで(ただし、直播水稲は3葉期まで)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、オモダカは発生前から発生始期まで、クログワイは草丈10cmまで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので使用をさけてください。

- 散布に当っては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤を無人ヘリコプターで散布する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機(無人ヘリコプター等)散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。移植時または移植直後に使用する場合や未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田、砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。

■蚕毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。